

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「情報社会の現状と課題」

◇ 解答例（模擬講義の内容の要約） ◇

※下線部はキーワード、キーフレーズの使用例
インターネットやスマートフォンなどの普及で私たちの生活は便利になったが、便利さの裏側にある様々なリスクも心配されている。トラブルの相談件数は増加し、個人での情報発信が容易になった結果、情報の氾濫も起こっている。トクリュウのような、インターネットや SNS が発達した 情報社会 特有の犯罪手法も誕生した。災害時の SNS 上のデマ や誤情報が、復旧活動や救助活動の妨げになることもある。より良い情報社会を築くためには、情報の真偽や利用価値を自分自身で正確に理解し、判断できる能力である 情報リテラシー が重要である。（247 字）

※キーワード、キーフレーズ

インターネット、情報の氾濫、トクリュウ、SNS、情報社会、
(災害時の SNS 上の)デマ、(情報)リテラシー

◇ 評価基準 ◇

〔得点率〕

- 100%： 6 つまたは 7 つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に間違いがない。
- 80%： 4 つまたは 5 つのキーワードに言及している。模擬講義の内容をほぼ正確に理解している。
- 60%： 3 つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に所々間違いがある。
- 40%： 2 つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に多くの間違いがある。
- 20%： 1 つのキーワードにのみ言及している。模擬講義の内容の要点整理として著しく不十分である。
- 0%： 白紙またはそれに準ずる答案である。模擬講義の内容の要点整理になっていない。

〔減点要素〕

- ・ 一般的な原稿用紙の使い方などの誤り
- ・ 誤字、脱字
- ・ 不自然な文章表現
- ・ 200 字未満